

食器洗い乾燥機の使用が光熱費に与える影響

東京ガス(株) 大久保窓香 ○新タ格

1. 目的 日常生活での食器洗い乾燥機(以下DW)使用が光熱費に与える影響を知る事を目的に、一般家庭にDWを設置して消費エネルギー(水道、電気、ガス)の測定を行った。
2. 方法 ①対象(3家庭): Y宅-4人家族・温水式ビルトイン45cm幅DW使用
N宅-4人・60cm O宅-3人・45cm ②方法: 夏、秋冬、春期の3回、使った食器は全てDWで洗う[A: DW使用期間(約1ヵ月間)]と使った食器は全て手で洗う[B: 手洗い期間(約1ヵ月間)]を設定し、その間の食器洗い使用分のエネルギー消費量を測定(専用メーター設置)する。期間中、家族員は普段通りの食生活を営む。
3. おもな結果 (詳細なデータは発表時に報告を行う。)
 - ①家庭ごとにDWの使い方にパターンができあがっていた(1月当たりの運転回数、設定温度など)。そのパターンは季節を通じて同じでその家の「癖」とも言えるものである。この運転パターンが光熱費に影響を及ぼしている。
 - ②光熱費を季節ごとに見ると、水温が高い時期(夏)に[A: DW使用時]のコストが最も安くなる傾向が3家庭共通に見られた。ただし[B: 手洗い時]に関しては、夏は水で洗う家庭とお湯を使う家庭に分かれ、共通の傾向は見られなかった。
 - ③使用水量は[A: DW使用時]よりも[B: 手洗い時]の方が多傾向が見られた。